

教科等横断型授業「商業」×「美術」 学習指導案

SDGsでの課題	SDGsの番号(4番)「質の高い教育をみんなに」				
実社会での課題	ビジネス活動においてプレゼンテーションは、得意先や顧客に企業情報や商品情報などを知らせ、契約や購買などの取引を行うための重要なコミュニケーションの手段である。自分が伝えるべき内容をきちんと相手に伝え、一方的に発信するのではなく相手の反応を確認しながら理解してもらえるものを作成することが課題である。				
生徒に身に付けさせたい資質・能力	プレゼンテーションの概要について学習し、活用される場面と有効性について理解するとともに、話し方や進め方など、プレゼンテーションを行うための技法を習得させる。				
主題(教材)	プレゼンテーションの全体の流れを理解し、各手順の具体的な留意点を学ぶ				
指導 展 過 開 程	学 習 活 動	時 間	指 導 上 の 留 意 事 項	資 料 等	
	導入	5	○ ビジネス活動においてプレゼンテーションがどのような場面で活用されているかを理解させる。	○電子黒板	
	展開	1 プレゼンテーションの意義について理解する。	5	○ 自己紹介と友人の紹介を通して、伝えたい内容の組立方法を理解させる。	○ワークシート (資料1)
		2 プレゼンテーションの基礎について理解する。	8	○ プレゼンテーションの手順について理解させ、実施する際の留意事項について考えさせる。	○教科書
		3 ビジネスにおけるプレゼンテーションの種類について理解させる。	8	○ 目的別・形式別による種類の違いや、使用するツールの違いを理解させる。	○教科書
		4 プレゼンテーションソフトウェアの特徴と機能について理解させる。	12	○ 背景の選択方法や文字サイズ、全体の配色など画面構成について理解させる。	○生徒用PC ○プレゼンテーション例
	5 プレゼンテーションスライドの作成方法について理解させる。	10	○ 見栄えのする資料作成とはどのようなものかを考えさせながら作成させる。	○生徒用PC	
整理	2	○ 学習内容を理解できたか確認させる。			
備考					